



# tokuMo 開発で めざすもの

河合塾理事 真嶋智

河合塾では、2023年3月に高校向けのICT教材「tokuMo」(トクモ)をリリースしました。開発の狙いや教材の特長について、河合塾理事・真嶋智からご紹介します。

## tokuMo開発の経緯と特長

2022年度から年次進行で実施されている新学習指導要領では、知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力など、より高次の学力の育成が求められています。扱う内容も増え、先生方がますます多忙になる中で、効率的に指導を行うことが重要になっています。

他方で、国の政策やコロナ禍を通じて、高校にもICT

環境が急速に整備されつつあります。しかし、ICTを生徒の学力育成に必ずしも有効に使えていない様子も見られます。

こうした状況を背景に、河合塾では、ICTを使って学校のお手伝いができないかと考え、「tokuMo」を開発しました。

tokuMoにはいくつかの特長があります<図>。

まず、教科「情報」を含めた6教科に対応しています。

### 図 tokuMo概要



(※)生物基礎・日本史・世界史・情報IはAIを活用した学習には未対応。

また、問題数は全体で約2万7千問と充実させています。問題の質にもこだわり、河合塾の講師が作問した問題を中心に出题しています。

問題は教科書レベルのものを中心としています。基本的な知識・技能の定着をICTで効率化し、先生方の時間を、思考力・判断力・表現力を伸ばす指導や、個に応じた指導など、学校で大切にしたい活動に割いていただきたいとの思いからです。一方、大学入試への対応にもご要望がありますし、今後は全統模試レベルの問題の搭載も検討しています。

**オリジナルの問題を作成する機能**が備わっていることも特長です。河合塾で作成した問題と合わせ、学校の状態に応じた出题が可能です。

このほか、生徒さんの学習状況を把握する管理画面など、先生方をサポートする機能も充実させています。

## tokuMo活用のイメージ

tokuMoはさまざまな場面で活用いただけます。

たとえば授業内の問題演習です。これまでは、課題を作成、配布、採点、集計、正答率の低い問題についての解説などを、先生方が行っていたと思います。tokuMoを導入することで、課題の配信や採点・集計を自動化し、

問題の解説や生徒への補足などに集中できます。生徒の解答状況をリアルタイムで把握して、授業内容に反映することも可能です。

AIを搭載しており、アダプティブな問題を提示することができますから、生徒さんの自学自習にも有効です。個々に応じた問題を出題することで、「できた」という自信が生まれ、生徒さんがより学習に興味を持ち、主体的に学習を進められるようになることが期待できます。ただし、教材を与えるだけでは、なかなか学習を進められない生徒さんもあるかもしれません。その場合は、ぜひ先生方が一緒になって、学びのPDCAサイクルをつくりあげていただきたいと思います。

ICT教材はこれまで、「購入したパソコンやタブレットを活用するため」といった理由で導入されるケースも少なくありませんでした。しかしこれからは、生徒さんの状況や学校の抱える課題に応じて、目的を明確にし、授業を中心とした教育活動に組み入れる形で導入していくことが大切です。

学校におけるICT活用が洗練されていく中で、一番に検討いただける教材でありたい。そうした思いを持ち、河合塾では、先生方の声をうかがいながら、今後もtokuMoの機能改善に努めてまいります。

無料

## 教員・生徒トライアル実施中

tokuMoをご体験いただける、教員・生徒トライアルを随時実施しております。

無料で学校にてお試しいただける機会ですので、ぜひご検討ください。

**対象** 高等学校の教員・生徒、教育行政担当者

**期間** 2カ月間

**費用** 無料

**申込方法** Webサイトにあるお問い合わせフォームより、  
トライアル希望の旨をお知らせください。  
<https://www.kawai-juku.ac.jp/highschool/tokumo/>

**注意事項** お申し込みは学校・自治体単位で受付します。生徒の方からの申し込みは対象外です。

お申し込みは  
こちら

